



作品紹介

毎年数多くの作品を発表している仁賀保高校情報メディア科。今年も生徒の皆さんの力作を紹介しします。今回は、先日放映されたAAB秋田朝日放送『秋田ふるさと手作りCM大賞2011』に出品され、優秀賞を受賞した作品です。

仁賀保高校 情報メディア科

作品解説

今年も情報メディア科ではにかほ市CMの制作をお手伝いしました。3月の東日本大震災により、被災地では伝統芸能の存続も心配されています。そこで、祭りや芸能が元通りにできるようになってこそ本当の復興と考え、“被災地・東北を元気づける”というコンセプトで制作しました。国の重要無形民俗文化財「小滝のチョウクライロ舞」が現代まで伝承されてきた歴史を取り上げ、子どもたちに未来への希望を見出し、CMを見た人に元気を与えようとするものです。



(ナレーション) 1200年の歴史を持つチョウクライロ舞「戦争の時は『もう終わりかな』って。でも、みんな『戦地で練習してた』って言うんですよ」
(解説) 歌♪チョウクライロ～ にかほ市とチョウクライロの説明 歌♪チョウクライロ～ 戦前・戦中の写真から現代の映像へオーバーラップ



「(子どもたち)大人になってもやりたいです!!!」「伝統、続きますよ。何があっても!」 (ナレーション) 伝統は力。にかほ市子どもたちの元気な声が高らかに響く 小滝舞楽保存会の練習風景と世代を超えた交流

撮影・編集

元々は“子どもたちの成長”をテーマとしていたため、昨年から2年にわたりチョウクライロ舞の本番、練習などを撮影。本番では5台のカメラを使用。数年前の映像も入手したため、全映像データは20時間を超えています。その中からCMに使う部分を選ぶのは大変な苦勞でした。

また目立たないように使っていますが、随所でCG(コンピューターグラフィック)を駆使して、今回も情報メディア科の技術が反映されています。



審査会



11月23日に行われた審査会には、作品に出演した小滝舞楽保存会の皆さんが参加しました。制作に関わった情報メディア科の生徒たちは修学旅行のため、残念ながらメイキング映像だけの出演。審査員にも被災地へ向けたメッセージ性を評価され優秀賞(総合第2位:秋田銀行賞)を受賞しました。今後、年間100本放映されます。お楽しみに。



企画・編集/にかほ市広報委員会 発行/にかほ市役所
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地

☎0184-43-3200(代表) ☎0184-43-7510(直通)
電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp
ホームページアドレス http://www.city.nikaho.akita.jp

広報にかほ は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます

150 彩 vol.150 2011 12.15
http://www.city.nikaho.akita.jp

＝特集『広報にかほの通信簿』2～5ページ＝